

年頭にあたって



高梁市議会議員 安原 幹人



高梁市長 秋岡 毅

新年あけましておめでとございます。市民の皆さまには、ご家族お揃いで穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、私も議会活動に對しまして、格別のご理解、ご支援を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風、集中豪雨、そして地震と、国の内外ともに大きな自然災害に見舞われた年でした。多くの犠牲者の皆さまに心から哀悼の意を表しますとともに、被災地域の一日も早い復興と、インド洋沿岸諸国に対して、温かい国

新年あけましておめでとございます。皆さま方には健やかで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、1市4町が合併し新「高梁市」が誕生した歴史に残る年でありました。合併にあたり、多くの皆さまにご理解とご支援を賜りましたことに改めて厚くお礼申し上げます。

国内外を振り返りますと、新潟県中越地震や相次いで上陸した台風、インド洋大津波など災害の多い年でした。一方でアテネオリンピックでの日本勢の活躍に沸き、

際援助が早急に差し伸べられることを心から願っているところでございます。

そのような中で、高梁地域におきましては、昨年10月1日、1市4町が合併し新高梁市が誕生するといふ、まさに歴史的な記念の年になりました。誠に感慨深いものがございます。

今、本市には福祉サービス、産業振興、道路交通、病院、救急医療をはじめとして大きな課題や問題が山積しており、しかも、少子高齢化、過疎化が一層進む中で大変複雑に絡みあっております。

師走に入りまして、紀宮さまの婚約が内定されましたことは、喜びを分かち合える明るい話題となりました。

合併後、初の新年を迎え本年は、皆さまとともに、新しいまちづくりに向けて本格的に取り組んでまいります。旧5市町それぞれの地域の特長を生かし、融和を図って、常に市民の皆さまと同じ目線で対話を大切にして、風通しのいい行政展開をしていく所存です。

また10月には、「晴れの国おかやま国体」が開催されます。本市においても全国から、多くの皆さま

私ども議員一同、新高梁市の将来に向けた基盤づくりのため、今何が必要で何が急がれるのか、取り巻く環境を冷静に見直しながら取り組んでまいります。皆さまの一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国の内外ともに誠に厳しい情勢ではありますが、本年が、市民の皆さま並びに本市にとりまして輝ける第一歩の年となりますようお祈り申し上げます。

まにお越しいただきますが、市民皆さまのご協力をいただきながら市民総参加の大会となるよう進めてまいります。

市政運営にあたりましては、「合併してよかった」と皆さまに感じていただけるようなまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年皆さま方にとりましても良い年でありますように心から健康勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

— 市長と新成人の座談会 —



竹中 仕事の関係でお年寄りと接する機会が多いのですが、私の住んでいる備中町は、合併により福祉の面などで取り残されるのではとよく聞きますが…。

市長 そういう不安を少しでもなくす行政展開をしていきたいと思っています。

高齢者には、健康のことや一人暮らしという環境、経済的なことなど、不安がたくさんあると思います。行政は、そういう人のためであるわけですから、お世話をさせていただきます。そうした不安を少しでも取り除くことが、私たちの責任ではないでしょうか。

行政等への要望

市長 社会や行政に対して、何か要望はありませんか。市長に對しての要望でもかまいません。

仲田 学校の実習で車いすに乗り、足にオモリをつけるなどして、市内を歩いたことがあります。高年齢者が多い反面、バリアフリーなどの対応がもっと必要なのではと感じました。

田中 これから年をとっていきませんが、住みやすいまちになってほしいと思います。

牧野 高齢者の施設や、介護のサービスなどを増やして住みやすいまちにしてほしいです。

市長 すべてとはいかないと思いますが、今後バリアのない社会を実現させていきたいですね。高齢者の方で施設に入っておられる方はケアができますが、これからは、住んでいる地域や家庭環境、お年寄りの状況など多種多様であるため、これに対応できる在宅高齢者のケアが必要です。難しい問題だけに、行政の支援が大切だと思います。いろいろな障害やストレスのない社会の環境づくりを図っていきたく考えています。

また、行政がしてくれるのを待



つのではなく、自分からこつとしてほしいなどの要望をしっかりと出していただきたいと思っています。

薬師寺 商店街の活気が衰えているように感じますが…。

市長 全国的に古い商店街がさびれているケースが多いですが、すべてがそうではなく、活気があるところもあります。商店街に限らず、自分たちの住んでいる地域を自分たちがどう思うかが大事なのでは。商店街を行政がつくるわけにもいきませんので、地域の皆さんや関係者の方々と知恵を出し合っていたいただきたいと思います。市民の皆さまが考えるまちづくりには、市として積極的に支援していきたいと考えています。

継山 これまで、それぞれの町でイベントを行ってきていますが、今後も続けられていくのですか。また、市をあげてのイベントなどを行ってほしいですね。

市長 今まで各地で行われてきたイベント等は、それぞれの地域の

若者への期待

田中 これからの若者に何を期待しますか。

市長 自分を見失わず、自分はこのなんだ、そういうものを持ってほしいですね。現代社会には情報がはんらんしていますが、それに左右されず情報は一つの手段としてとらえ、自分の行動のあり方などには責任を持って、自分自身を確立してほしいと希望します。

今日は、夢と希望に満ちた大人としての第一歩を踏み出される皆さんと大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。今後の活躍をお祈りいたします。